

平成23年度

(2011年度)

町田市の財政

- 普通会計決算状況
- 財務諸表
- 財政の健全化

平成24年12月

町田市財務部財政課

はじめに

地方公共団体の財政は、一般家計と同じように収入（歳入）と支出（歳出）で構成されています。町田市の財政は、その歳入と歳出が計上される一般会計（行政の一般的な歳入、歳出を経理する）と7つの特別会計（一つの目的を持った事業の収支を一般会計とは切り離し、単独で経理する）から成り立っています。

この一般会計や特別会計は、地方公共団体によって会計の設定や内容が異なるため、自治体間の比較が困難です。そこで、総務省の定めた全国統一の基準をもって再構成し、財政状況の把握、地方財政全体の分析を可能にしたのが普通会計と公営事業会計です。

町田市の平成 23 年度普通会計決算額は、歳入・歳出とも前年度を上回り、財政規模がさらに拡大しました。

一方で、市税は東日本大震災による景気後退の影響などにより、前年度に比べ 2 億 2 千万円の減収となり、平成 20 年度から 4 年連続で対前年度比減となりました。この減収の影響などにより、平成 22 年度に引き続き、普通交付税の交付団体となりました。経常収支比率は前年度から 0.1 ポイント上昇し、財政構造の弾力を失いつつある状態です。また、今後も景気の低迷、繰出金や生活保護費・保育所運営費などの扶助費の増加は避けられない状況であり、引き続き厳しい財政運営を強いられるものと予想されま

本書では、まず平成 23 年度の決算状況について、普通会計の数値を用いて経年比較や対前年度比較、他市との比較を行うことにより、町田市の財政の現状をお知らせしていきます。

次に、資産・債務の管理や行政サービスにかかる費用などの詳細を把握し分析することで、より効率的な行財政運営を行うために、民間企業の会計基準に準じた様式で作成した貸借対照表など財務諸表 4 表により、町田市の財政について分析していきます。

また、平成 21 年度から本格施行された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、健全化判断比率の 4 指標、及び公営企業ごとの資金不足比率の算定結果等により、市全体の財政の健全性を示していきます。

なお、今後も、市財政の状況について、よりわかりやすい情報の提供に努めるとともに、分析結果の活用方法なども研究を進め、行財政運営に生かしていきたいと考えていきます。

平成23年度 町田市の財政

目 次

I. 普通会計決算状況	1
1. 平成23年度普通会計決算の概要	1
(1) 収支の状況	1
2. 歳入	2
(1) 平成23年度歳入の状況	2
3. 歳出	6
(1) 目的別分類による歳出の状況	6
(2) 性質別分類による歳出の状況	13
4. 積立金・市債	22
(1) 積立金と市債現在高の推移	22
5. 財政指標	24
(1) 各財政指標の推移	24
II. 町田市の財務諸表4表について	30
1. 貸借対照表の概要	32
(1) 貸借対照表とは	32
(2) 作成基準	34
2. 貸借対照表による財政分析	36
(1) 貸借対照表	36
(2) 市民一人当たり貸借対照表	38
(3) 歳入合計対資産比率	40
(4) 資産老朽化比率	40

3. 行政コスト計算書の概要	41
(1) 行政コスト計算書とは	41
4. 行政コスト計算書による財務分析	43
(1) 行政コスト	43
(2) 市民一人当たりの行政コスト	44
(3) 性質別行政コスト	45
(4) 目的別行政コスト	45
(5) 使用料・手数料等対行政コスト比率	46
5. キャッシュ・フロー計算書の概要	47
6. 純資産変動計算書の概要	50
7. 連結財務諸表について	51
(1) 市全体・連結貸借対照表の概要	52
(2) 市全体・連結行政コスト計算書の概要	53
Ⅲ. 財政の健全化	54
1. 健全化判断比率	56
(1) 実質赤字比率	56
(2) 連結実質赤字比率	57
(3) 実質公債費比率	58
(4) 将来負担比率	59
2. 資金不足比率	60

付属资料

1. 決算カード（普通会計）	62
(1) 平成23年度決算状況	62
(2) 平成22年度決算状況	64
2. 多摩26市の中の町田市（財政指標比較）	66
3. 多摩26市の中の町田市（市民一人当たり普通会計決算額比較）	67
4. 町田市の財務諸表4表	74
(1) 平成23年度普通会計財務諸表	74
(2) 平成23年度連結財務諸表	78

【注意事項】

文中及び図表中の数値については、原則として各項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計、差引き等が一致しない場合があります。